

H27年6月25日

新潟日報朝刊

小児がん克服 就労を後押し

NST

支援団体に寄付金

NST(新潟市中央区)は24日、小児がん経験者の就労支援のため、700万円を同市中央区の認定NPO法人「ハートリンクワーク」に寄付した。

ハートリンクは、小児がん経験者の就労支援や、晚期合併症の研究の助成活動を行う。ハートリンクが新潟日報メディアシップ内で運営する「はーとりんく喫茶」は、小児がん経験者が職業訓練の場として働く全

国初の就労支援施設。現在は5人が働いている。NSTの寄付は昨年に続き2回目。目録の贈呈のため、はーとりんく喫茶を訪れたNSTの吉田秀穂専務取締役は「1人でも多くの

小児がん経験者が、希望を持てるよう今後もできる限り支援したい」と語った。寄付を受けた林三枝副理事長は「寄付金を研究助成や就労支援などに使いたい」と話した。

小児がん経験者の就労支援

NSTが700万円寄贈

〈新潟〉NST(新潟市)は、小児がん経験者の就労を支援するNPO法人「ハートリンクワーク」の活動支援に平成26年度最終利益の1

〇に相当する700万円を寄付した。寄付は昨年に続き2回目。

寄贈式は24日、新潟市中央区のメディアシップ内にある「はーとりんく喫茶」で行われた。「はーとりんく」は同法人が運営する小児がん経験者向け職業訓練施設の国内第1号として、平成25年に開設した。

小児がん経験者は全国に約10万人いると推測されている。多くが病気を克服し支障なく日常生活を送っているが、中には、治療による後遺症を抱えながら就労の機会に恵まれない経験者も少なくないという。

NSTの吉田秀穂専務が、同法人の林三枝副理事長に寄付の目録を贈呈。林副理事長は、小児がん経験者の長期ケアに関する研究支援▽経験者の雇用の場の拡大▽小児がんの子供たちへの教育環境づくりーなどに寄付を活用したいと述べた。

H27年6月25日

産経新聞朝刊



はーとりんく喫茶でNSTの吉田秀穂専務(左)が林三枝副理事長に寄付の目録を手渡した。新潟市中央区